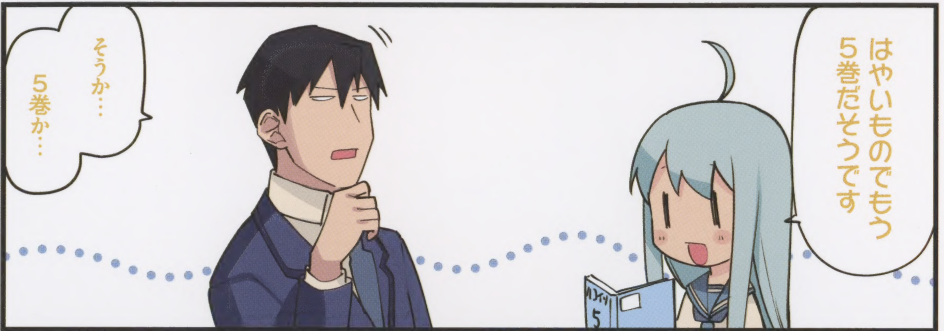


箱入りドロップス 5

とらのあな購入特典 4Pリーフレット





箱入りドロップスが私にとって何かつて…？

そうさな…人生…みたいなもんかな…

ここにちわ津留崎です

漫画家人生6年目突入して箱入りも6年目突入しました。小学1年生がそろそろ卒業目前です。

若者だった私もアラサーと相成りました。いい歳のとりかたしていきたくてす。

さて、なんか長年やってきた事だし、そろそろ自分を振り返る時期にも来てると思うたので今回は過去の巻を今現在の自分で見てどんな感想になるか書いて行きたいと思います。

1巻感想

絵下手すぎて見てられないし、今だったらココこうするのにのオンパレード。でも今じゃ描けない

ゆつたりとした空気感みたいなのはあると思います。相ノ木は一番最初の登場シーンから桂木さん狙いてす。

そういうええ筆はお金持ち設定は特に無かたんですが当時の担当さんにアオリか何かに「お金持ち」明記されちゃったのでお金持ちになりました。初版もってる人はスイカ割り回の描きあろしページ見てみると手が2本生えてる人見れて不思議な気持ちになります(2刷目からは直ってます)

2巻感想

大分絵がうまくなつて安心して安眠する。このぐらいの原稿からなら直視出来ます。

文化祭の巻2号がやたらと評判良く、アンケートが良くて嬉しかったの覚えてる。

諸葛孔明Tシャツもウケがよくて、ファンの方が手作りで作ってくれたものが家にあります。最高。

3巻感想

ラブコメとしての頭角をあらわした巻。1・2巻で停滞していたものを動かして毎巻色々な楽しみ方をしてもらおうと作品の方向性を位置つけた個人的には大切な巻です。

告白シーンとか描くの死ぬほど恥ずかしいからやめないうやめない

どうてもいいけど高校時代真面目に勉強しなかつたからどういう事やってたか覚えてないし大学行つてないからカリキュラムわかんないして何気さういう所を調べるのに苦労してます。辛い。

4巻感想

鈴音大爆死巻。その後は鈴音あんまり出てきませんが、普通学年も違つていたら疎遠になる方がリアルかなと思つてあえて描いてません。でも鈴音自体は超気に入ってるキャラなので、出せる所てちよつとだけ出して

いきたいと思つてます。失恋つて辛いなーでもその辛さがいいんだ。泣いてる君が好き。というから巻より絵うまくな下手になつてね…なんてや…

とまあ大雑把に
まとめましたか

総ページ数550ページ

ぐらい…？コマ数換算すると

なかなか凶悪な数字が

出ますね。愛情だけは

ごっそりつまってますので

5巻も楽しんでもらえたらな

と思います。

たまーに1巻あたりから

読みなおしてくれたりすると

過去の私も嬉しうてす。

どうぞよしなに！

